



2021. 3. 24 (水)
佐賀県立唐津西高等学校

小川 和順(国語科)

赴任して9年間、満開の桜の下、登校坂を歩いて通う喜びを当たり前のことのように思ってきましたが、今年はこれが最後かと思うといささか感慨深いものがあります。思えば、春の桜、鶯の声、夏の炎天下の海風、秋に色づき落葉する银杏、冬に踏むテニスコートの霜枯れの草。西高が町中にありながら、四季を身近に感じられる恵まれた環境にあるということを改めて実感させられます。

みなさんには、ぜひ、この恵まれた環境の下、学びを深め、妥協しない進路実現を果たしてほしいと切に願います。私たちを取り巻く世界はその全体を容易に捉えることなどできません。しかし、学びを深めることで、私たちの目は開かれます。見えない世界の一端が見え、気付かなかったものに気付けるようになります。井上ひさしの言葉に、こうあります。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、ゆかいなことをいっそうゆかいに」

みなさんの、今後のご活躍をお祈りします。さようなら。お世話になりました。

西 よし子(国語科)

西高で7年間過ごしました。皆さんが卒業する姿を見られないのは残念です。

皆さんに伝えたいことは「目標をもって、その達成のために努力を頑張ってほしい」ということです。部活動での目標、進路の目標、その先の将来の目標とさまざまな目標を、それぞれの方が持っていると思います。ぜひその実現のためにできるだけの努力をしてください。皆さんの活躍と進路の実現を期待しています。クラスで、授業で、楽しい時間をありがとうございました。

福山 智亮(地歴・公民科)

あんまり、名言・格言ものにはあまり興味を惹かれないのですが、そんな私でも割と好きな言葉があります。それは、『論語』の中にある子曰、「過而不改、是謂過矣」という一節です。書き下すと子曰く、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ」となり、意味は(人は誰でも過ちがあるものであるが)「過ちを改めないことこそ本当の過ちである」となります。皆さんもこの先、成功するときもあれば失敗するときもあるでしょう。もし、失敗したとしても謙虚な気持ちで失敗を素直に受け入れて、改善していきましょう。その先に必ずあなた達が望む未来があるはずです。今後の皆さんの活躍を楽しみにしています。4年間お世話になりました。

井手 誠(数学科)

私は、部落差別やコロナ差別をはじめとする、あらゆる差別をなくすことを西校の外で推進していましたので、私のことを知る人はいないと思います。

さて、西高生に一言申し上げます。それは、「ピンチの時こそ、冷静になれ！」です。慌てふためいては見えないものが、冷静になると見えてきて、その結果切り抜けることができる可能性があるからです。これからの人生、順風満帆であるとは限りません。必ずや難事に遭遇するでしょう。そのとき、「ピンチの時こそ、冷静になれ！」と、2021年3月24日、井手誠という先生が言っていたと思い出し、苦難に立ち向かってください。きっと道は拓くでしょう。

みなさんの活躍を期待します。お世話になりました。

土井 大輔(数学科)

短い間でしたが、お世話になりました。皆さんのおかげで、楽しく充実した毎日を送らせてもらいました。挨拶をしてくれたり、話しかけてくれたり、皆さんにとっては何気ないことのひとつだったかもしれませんが、僕にとってはとても嬉しい出来事でした。楽しい時間をありがとうございました。これからも頑張ってください！

田代 保則(英語科)

12月から4ヶ月の短い間でしたが、皆さんと一緒に過ごせて私にとってとても貴重な時間となりました。明るく素直な皆さんからこちらがたくさんエネルギーをもらいました。特に2年生の皆さんは、私が授業中間違えても暖かく受け入れてくれて本当に助かりました。皆さんの授業に行くのが楽しみでした。4月からは3年生となりますます忙しくなるとは思いますが、コロナの中ですから健康管理にも十分気をつけて頑張ってください。これからもずっと応援しています。

女子ソフトテニス部の皆さんにもお世話になりました。明るい皆さんと出会えて良かったです。総体で力を出し切ってください。

名残は尽きませんが、お世話になりました。ありがとうございました。

松藤 直也(英語科)

およそ1.5か月という短い期間でしたが、本当にお世話になりました。みんなとは英語の授業と美術部でしか関わることができませんでしたが、授業に向き合う姿勢や気持ちの良い挨拶にグッときました。いつまでもその素敵な姿のままでいてください。必ず誰かが見えていますよ。最後になりますが、来年度は新3年生にとって進路を決める大切な時期になるかと思っています。どうか、「自分の意志」で戦って欲しいと思います。自分の好きなこと、得意なこと、そして価値観を明確にして理想の進路を歩んでください。みんな、頑張ってください！

古賀 健大(体育科)

今年度から先生として働き始めて、不安だった私に皆さんはとても人懐っこく、たくさん話しかけてきてくれました。そんな皆さんと話をしたり、授業で様々なやり取りをすることが凄く楽しく、充実した日々でした。

これからの人生、沢山の障害があり、沢山の挫折を味わうことになると思います。その時に支えてくれるのは家族、友人、今周りにいる人達、これから会う人達です。今、隣にいる人達とこれからの出逢う人達を大切に。一年間という短い間でしたが、ありがとうございました。皆さんも頑張ってください！！応援してます！！

新郷 美貴(事務)

平成 25 年度に西高に赴任してから8年もの長い間勤務をさせて頂きました。途中の約2年間は子育てでお休みをしましたが、私の社会人生活のほとんどを西高で過ごしました。

私は西高に赴任して初めて「師弟同行」という言葉があることを知りました。最初はどういう意味だろう？くらいにしか思っていませんでしたが、先生と生徒が共に学び共に育つ、西高にぴったりな言葉だなと感じるようになりました。高校生の若い皆さんも大人の私たちも生きる力をさらに育むために日々学んでいく必要があります。

4月から別の学校で勤務をすることになりますが、私も新しい環境で日々学んでいきたいなと思っています。西高生の皆さんが高校生活やれることはやり切ったぞと自信をもって卒業出来るよう、日々の積み重ねを大切にして西高生活を過ごしてください。

曲淵 英見(事務)

4年間という期間ではありましたが、お世話になりました。いま、流行っている、コロナに掛からず、負けないように頑張って、残りの学校生活を送って下さい。ありがとうございました。

桃崎 忠明(司書)

図書館司書として西高に来て3年があっという間に過ぎていきました。図書館に足を運んでくれる生徒が少なく接する機会があまりありませんでしたが、楽しく過ごすことができました。最後にこの学校は進学校ですのでもう少し本を読んでもらいたいと思います。3年間お世話になりました。そしてありがとうございました。

